

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 C h a p p y

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 Wish-s-SH (安定型次亜塩素酸ナトリウム 100ppm)

表 題 殺菌効果試験

2024 年 05 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

株式会社 C h a p p y

2 検 体

Wish-s-SH (安定型次亜塩素酸ナトリウム 100ppm)

3 試験概要

分析試験成績書第24044172001-0101号で有効塩素を測定した検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1及び2, 試験条件を表-3に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果①

試験菌	対 象	生菌数(/mL)				
		開始時	15秒後	30秒後	45秒後	60秒後
VRE	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	9.8×10^5	—	—	—	7.9×10^5
セラチア	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	5.3×10^5	—	—	—	4.9×10^5

<10: 検出せず

保存温度: 室温

対照: 精製水

表-2-1 試験液の生菌数測定結果②

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	15秒後	30秒後	45秒後
カンピロバクター	検 体	—	<100	<100	<100
	対 照	1.0×10^6	—	—	—

<100：検出せず

保存温度：室温

対照：生理食塩水

表-2-2 試験液の生菌数測定結果②

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)		
		60秒後	3分後	10分後
カンピロバクター	検 体	<100	<100	<100
	対 照	—	—	1.7×10^6

<100：検出せず

保存温度：室温

対照：生理食塩水

表-3 試験条件

試験菌液	試験菌	① <i>Enterococcus faecium</i> NCTC 12204(バンコマイシン耐性腸球菌：VRE) ② <i>Serratia marcescens</i> NBRC 12648(セラチア) ③ <i>Campylobacter jejuni</i> subsp. <i>jejuni</i> ATCC 33560(カンピロバクター)	
	試験菌①及び② 前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社]，35℃±1℃，18～24時間好気培養 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL		
	試験菌③ 前培養：5 %馬脱繊維血液加Blood Agar Base No.2(OXOID)，35℃±1℃， 2～3日間微好気培養 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁸ ～10 ⁹ /mL		
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	試験菌①及び②：15秒，30秒，45秒，60秒(室温) 試験菌③：15秒，30秒，45秒，60秒，3分，10分(室温)		
中和条件	SCDLP培地[塩谷エムエス株式会社]で10倍希釈		
対照	精製水(試験菌③は生理食塩水)		
生菌数測定	試験菌①及び② SCDLP寒天培地[塩谷エムエス株式会社]，混釈平板培養法		35℃±1℃， 2日間好気培養
	試験菌③ 5 %馬脱繊維血液加Blood Agar Base No.2，平板塗抹培養法		35℃±1℃， 5日間微好気培養

以 上